

令和2年度 北海道千歳北陽高等学校「第1回学校評議員会」会議録

開催期日	令和2年6月30日（火）
会 場	書面開催
出席者	学校評議員5名 生 杉 泰 志（千歳北陽高等学校前PTA会長） 稲 村 幸 彦（学識経験者） 根 橋 聖 治（千歳工業クラブ代表幹事） 前 田 牧 子（千歳北陽高等学校PTA監査） 松 原 崇 人（千歳市企画部主幹） 学 校 側4名 渡 邊 祐美子（校 長） 今 井 健 晴（教 頭） 富 永 貴 之（教 頭） 田 中 浩（事務長）
1 校長が意見を求めた事項等	
・学校経営全般について ・学科転換について ・その他	
2 学校評議員の意見	
（1）校長挨拶 （2）令和2年度学校経営方針説明 （3）本校の実践等に関する資料説明 （4）学校経営全般に関する学校評議員の意見 ・コロナ防疫として「新しい生活様式」での学校生活が送れる様対応願います。 ・先生方の指導方法について、アフターコロナで変化させるべき指導があると思われるので、対応をお願いします。 ・コロナ禍による授業の遅れの取り戻しを、安全で健康的な方法でお願いします。 ・求人件数がかかなり減ると予想されますので、早めの対応をお願いします。 ・教職員の皆様による学習指導、生徒指導、進路指導は適切に行われていると評価します。課題としては、入学者数が逡減しているのは少子化の影響に依るところが大きいとして、退学者を増やさない、更には減らすことと捉えます。 ・各中学校へ出向き、北陽高校をよくするため何が必要なのかを聞いてはどうか。その時に訪問する中学校の卒業生及び在校生のデータを持参し、型にはめないで、意見交換をしてみてもどうか。 ・北陽高校の課題を見出すために、生徒代表、保護者、教員の三者懇談会を実施し、課題を出してもらい、それをもとに教員で研修会を開いてみてはどうか。 （3）学科転換に関する学校評議員の意見 ・コロナ禍による全体計画への影響はあるのでしょうか。 ・感染症と共存できる学科転換となります様、準備をお願いします。 ・総合学科への転換により教員数が増えることを伺っており、より充実した指導が可能になること、また、何よりも北陽高校として「新たな特色ある教育」を実践していくことが可能となることから、入学者確保、優位な人材育成に期待が持てると考えます。 ・各中学校に、総合学科がどのようなものかを説明する会を計画してはどうか。 ・昨年と比べると動きがよいような感じがします。 （4）その他に関する学校評議員の意見 ・部活動の大会が中止される中、引退する3年生の思い出づくりとして何か学校でしてあげられるとよいのではと感じます。 ・各中学校3年生の何%が北陽高校に入学しているのか、入学生分析をして数字で表示してはどうか。 ・転出・退学等を分析し、退学時期や性別、中学校名を表示してはどうか。 ・どうしたら受験者数を増やすことができるか、委員会を立ち上げてはどうか。	